
初恋の君

ユリ ナ・レシモーレ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

初恋の君

【Nコード】

N7331X

【作者名】

ユリ ナ・レシモーレ

【あらすじ】

君に恋をした私。それでも想いは届かなくて…。

あなたは、初恋を覚えていますか？

(前書き)

短編ですが、少し長くなってしまいました。

それでも、良かったら読んで下さい。

初めて好きになった人の事を、「初恋の人」と言うのなら、多分君が私の初恋の人だろう。

今まで、人を好きになるって事がイマイチ分からなかった。

でも、いつの間にか目で追っていて、君の事を考えるようになって…。

それが、「好き」って感情なのだと知った。

好きだって分かってからは、毎日が楽しくて、君に逢える事が嬉しくて。

朝、登校中に見かけるだけで、その日はどんなに嫌な授業があっても、頑張れちゃうくらい、君から元気をもらった。

話せたら、凄く心が暖かくなった。

あの時は、君が私の元気の源だったんだ。

卒業式の日。

君に告白しようとした。

でも、君は友達と楽しそうにしていたから、何も言えなかったんだ。

学生時代の最後の最後の日に、君に話せないと思ったら、とても胸が苦しくなったよ。

けど、その時、君は私を見つけて近づいてきた。

「いね」

そういって、君が差し出したのは、水色の可愛いキーホルダー。

「お前にはさ、色々もらったから……」

君は、少し照れながらそう言ってくれたね。

あまりにも嬉しかったから、上手く話せなくて、

「ありがとう」

って言うのが、精一杯だったんだよ。

その一言でも、君は満足そうにしてくれて、

「んじゃ、またな。」

違う道を進むけど、またメールするなっ」

って言って、笑いながら離れて行ったよね。

私、今までの人生の中で一番嬉しかったんだよ。

それから、数年経ったある日。
携帯に一通のメールが入った。

それは、元々心臓が弱かった君が、急な心臓病でこの世を去ったって言う内容だった。

私は信じられなくて、君のお葬式も上の空だった。

お葬式の最後に、君のお母さんが挨拶して、式が終わって、出棺する前に、君のお母さんに話しかけられた。

「あ、ちゃん。今日は、わざわざありがとうございますね」

私は、「御愁傷様でした」としか言えなかった。

そして、君のお母さんは、私の携帯についているキーホルダーを見て言った。

「あ、その水色のキーホルダー。それは、xxがあげたものだよね？xx、それを買う時に、凄く真剣な顔して選んでね。いつもはそんな顔しないから、その事はとても印象に残っているの。良かったら、これからも大切にしておいてね」

そんな事、君は何も言わなかったから、私は初めて知った。

思わず涙が止まらなくなって、それでも必死に、

「お線香、あげに行きますね」と言った。

その姿を見て、君のお母さんも泣いていたよ。

どうして君は、こんなにも愛されているのに、みんなを置いて逝ってしまったの？

でも、それはきっと、君が一番悔しがつている事だよね。

君が生きられなかった分、私達が一生懸命生きていくから。

だから、どうか私達を見守っていて下さい。

私の初恋は叶わなかったけど、君と出逢えて、君に恋が出来て幸せでした。

君も、私と出逢えて幸せでしたか？

(後書き)

いかがだったでしょうか？

もし良かったら、評価、感想をよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7331x/>

初恋の君

2011年10月19日18時10分発行